

豊後大野市小中一貫校朝地小中学校 【ICT活用の実際、自己存在感の場、板書の構造化、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際

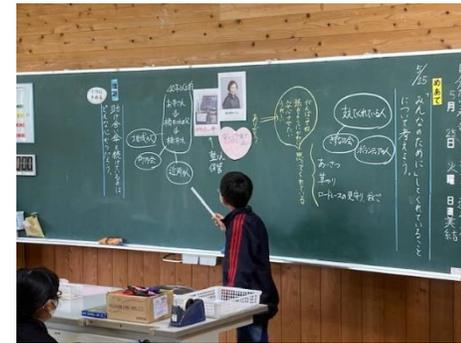


国語の授業で、1人1台端末の活用



教材を投影⇒説明

2. 自己存在感の場、板書の構造化



板書を使って発表する児童

思考を促す板書



3. 自立した学習者の育成



行事の振り返り

手帳で自らを振り返る



1. 国語科の授業において、様々な書体をタブレット端末で確認し、生徒が効果的に表現できるように工夫されていた。グループで相談しながら、自分が表現したい書体を選択したり、説明したりしていました。
2. 黒板を利用して、友だちの前で自分の考えを発表することができていました。また、児童の思考の流れを促す構造化された板書がされていました。
3. 体育祭や様々な活動について、振り返りが行われていました。文章で自分の取組、感想や思いなどが綴られていました。また、『手帳』の取組を通して、自分の1日の行動の振り返りや今後の予定などを書き込むことで、自分自身の行動が管理できるようになっていました。